

## 2016 年度課題研究会活動成果報告書

課題研究会名：医療情報における紙媒体の利用研究会

設置期間：2013 年 11 月~2017 年 3 月

代表幹事の氏名・所属：

松村泰志・大阪大学大学院医学系研究科医療情報学

幹事の氏名・所属：

八幡勝也・住田病院

中川 肇・富山大学附属病院医療情報部

荒井康夫・北里大学病院医療支援部診療情報管理室

阿南 誠・川崎医療福祉大学医療マネジメント学部医療情報学科

木村映善・愛媛大学大学院医学系研究科博士課程医学専攻

社会・健康領域医療情報学講座

村田晃一郎・北里大学メディカルセンター

瀬戸僚馬・東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科

武田 裕・滋慶医療科学大学院大学

活動成果の概要：

2016 年 10 月 29 日 13 時~17 時、滋慶医療科学大学院大学のセミナールームで研究会を開催した。同年 11 月開催された第 36 回医療情報学連合大会においてワークショップを開催し、研究会での成果を発表した。

本研究会では、以下のことが議論された。

診療記録は、そもそもは紙媒体に記録されていた。電子カルテになって、この紙媒体に記録されていた記録を電子化して管理することとなった。その観点で電子カルテ内の記録を分類すると、①病院職員が記録するもので、端末から直接電子カルテに入力して作成する記録、②病院職員が記録するものであるが、これを電子化するシステムが用意できなかったために、従来通りに紙に記録し、これをスキャンして電子化する記録、③病院職員以外が作成する記録（他院からの紹介状、同意書等の署名が必要な記録）であり、スキャンして電子化するしか方法がない記録の 3 つに分類できる。このように現状の電子カルテシステムにおいて、スキャンによる電子化に依るところは大きい。本研究会では、診療記録文書のスキャンによる電子化に焦点を当て、その

方法、課題について議論し、さらには、診療記録を、スキャン文書を含め文書の集合と見なし、その全体を管理する方式について議論した。

医療記録をスキャンする場合、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに沿ってスキャンすることで原本と同等であることを担保するとされ、元の紙を破棄することが許される。このためには、電子署名とタイムスタンプが必要となる。タイムスタンプには、PAdES、XAdES、CAdES の規格がある。富山大学附属病院では PAdES によるシステムから、更新後のシステムでは XAdES によるシステムに変わる経験をし、それまでに PAdES のタイムスタンプを押した文書を XAdES の方式に変更する方法についての報告があった（中川 肇報告）。

電子カルテの閲覧性を向上させるためには、スキャン後に文書種を記録する必要がある。また、適切にスキャンされたことを確認する手順が必要である。北里大学附属病院における確立されたスキャンの運用体制について紹介があった（荒井康夫報告）。

電子カルテの閲覧性を高めるためには、病院職員が入力した文書とスキャンで取り込んだ文書を統合して閲覧できることが望ましい。また、システムが生成する文書であっても、PDF 等の形で保存することで、長期の保存性・見読性を確保しやすくなる。大阪大学附属病院では、全ての診療記録を PDF または Docuworks の形に変換して保存するシステムを導入した。文書の管理には、個々の文書がどの患者の、何時の、何に関する文書であるかの属性情報を付加する必要がある。文書を統合管理することで、病歴の閲覧性が良くなり病歴全体が把握しやすくなるメリットがある。また、地域医療連携システムと連携することで、文書全体を閲覧可能とすることができる。また、診療録監査においても、あるべき文書の存在をリアルタイムに確認できるなど、統合文書管理システムの利点が照会された（松村泰志報告）。

今後文書を医療施設間で交換する場面が想定され、文書種について標準的な分類体系の必要性について議論された。現在、各病院での現状での文書種分類が提示され、また、現在診療情報管理士により作業中の文書種分類の標準案が示され、議論された。

資料 1. (ワークショップ詳細抄録)

資料 2. (松村泰志発表資料)

資料 3. (中川 肇発表資料)

資料 4. (荒井康夫発表資料)

活動成果の発表：

[雑誌論文] 計 ( 1 ) 件

- ① 中川 肇、辻岡和孝. 電子化文書管理における長期署名フォーマットの変更時の証跡性担保に関する方策－医療用紙文書の普遍的長期保管をめざすために－. 医療情報学. 2017 ; 37(4) ; 179-85.

[学会発表] 計(6)件

- ① 第36回医療情報学連合大会 ワークショップ12 医療機関における書類情報の管理と標準化提案 松村泰志、中川 肇、荒井康夫 2016年 横浜
- ② 第36回医療情報学連合大会 一般口演 地域連携における文書単位の診療情報共有手法の開発 中川彰人 2016年 横浜
- ③ MEDINFO 2017 ポスターA Document-based EHR system that controls the disclosure of clinical documents using an Access Control List file based on the HL7 CDA header Takeda Toshihiro 2017年 中国
- ④ 第43回日本診療情報管理学会学術大会 ランチョンセミナーⅡ 一院内から地域へー電子カルテ時代の情報共有に向けて診療情報管理士ができること 上田郁奈代、森藤祐史 2017年 札幌
- ⑤ 第43回日本診療情報管理学会学術大会 一般口演 電子診療記録の文書分類標準化に向けた検討 上田郁奈代 2017年 札幌
- ⑥ 第37回医療情報学連合大会 診療記録として取り扱うべき医療文書の系統的分類の検討 上田郁奈代 2017年 大阪